

～バイオステイミュラント肥料～

IPE アイピーイー



土に働きかけるBS資材

～土のやる気スイッチon～

期待できる特徴

- 土壤に固定されたリン酸の可溶化
- 土壤に投入するリン酸の利用率向上
→リン酸の利用率が高まることで…
根・茎の成長を促進し、
高品質な花芽の育成が期待できます

全国から届いています！ お客様の声



長崎県・カーネーション

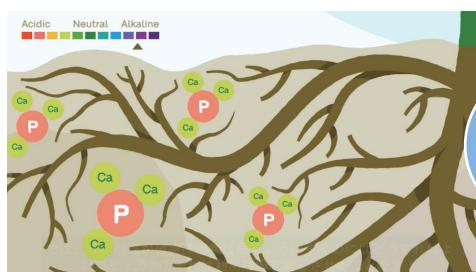
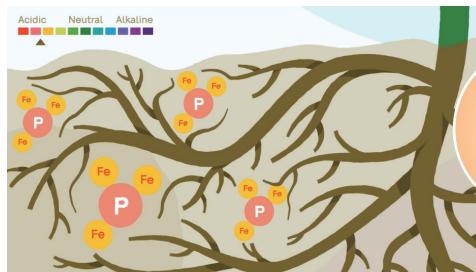
冬から春の花盛りに、1回あたり0.1～0.2L/10aを2週間間隔で使用。IPE施用区では花のボリュームと揃いが良くなりました。



大分県・大玉トマト

- ・肥料タンクに100Lあたり0.2L投入。高温期の7～9月でも花質が良かったです。
- ・肥料タンクに100L当たり0.2L投入。長雨の影響で花質の悪い区画で施用したところ花質が改善しました。

植物がリン酸を利用する適正pHは5.5～6.8



愛知県田原市・キク

リン酸過剰の圃場で継続的に使用したところ、リン酸値が320mg/100g→270mg/100gへ減少しました。



佐賀県・キュウリ

肥料タンクに100Lあたり0.2L投入。高温期でも花質が良く、成り込み後も収穫量の谷が落ち込まない印象でした。

効果・施用方法

主成分

- N-P-K=3-9-0、Zn^{+2.1%}
- 有機酸(フミン酸同様の機能)
≒フミン酸カリウム

効果

- 土壤中リン酸の可給態化
- 投入リン酸の不可給態化の抑制

施用方法

土壤灌注

- 2~3週間ごと(出来れば毎日少量)

使用量(養液土耕)

- 0.1~0.3L/10a/回
※1作の施用量が目安の量となるように施用回数で調整

養液処方に組み込む場合

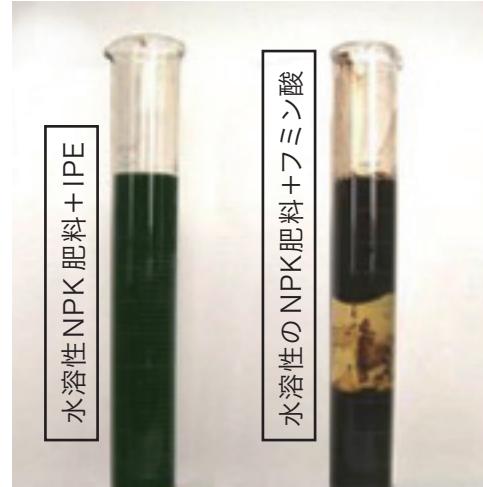
- リン酸側の原液タンクに0.1~0.3L/100L混入
※石灰系資材との混用不可
※ヤシガラ、RWは不可

施用量の目安

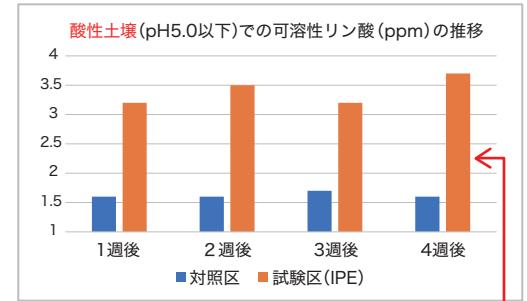
作物	施用量/10a/回	施用量/10a	備考
トマト	可能な限り分散、できれば毎日少量	3~5L/作	施用回数は多ければ多いほど良い
ナス		3~5L/作	
キュウリ		3~5L/作	
イチゴ		4L/作	
キク		3~5L/作	
ガーベラ		6~7L/年	
カーネーション		6~7L/作	

※果樹・芝含む作物全般にお使いいただけます

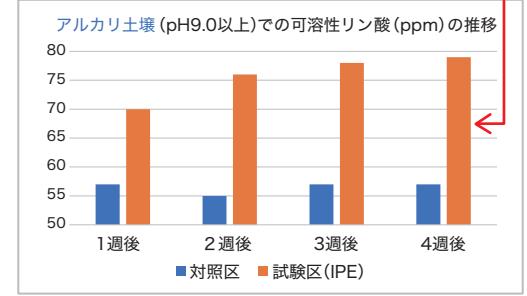
石灰以外の肥料と混用しても分離しない



IPE施用後の可溶性リン酸の推移



施用後4週間効果継続



オリジナル処方作成可能

サンプル	様	IPE処方 肥料処方表	inochio GROUP
作物: トマト			作表日: 2025.07.07 設計者: いのちオアグリ(株)
肥料名	100 L	200 L	300 L
IPE	0.2 L	0.4 L	0.6 L
第一ソーラカリ	2.5 kg	5.0 kg	7.5 kg
硫酸マグネシウム	7.5 kg	15.0 kg	22.5 kg
硫酸カリ	7.0 kg	14.0 kg	21.0 kg
B液			
オリニントDTPA Fe	0.5 kg	1.0 kg	1.5 kg
硫酸石灰4水塩(A)	12.5 kg	25.0 kg	37.5 kg
硫酸カリ	5.5 kg	11.0 kg	16.5 kg